



(右から)  
防衛省防衛政策局防衛政策課防衛政策企画官  
飯島秀俊さん  
防衛省大臣官房文書課法令審査官  
岩田和昭さん  
東北防衛局長  
深澤雅貴さん

さとう仁一議員が代表を務める「国民合意なしの安保関連法案をストップさせる大崎市議会議員の会」では、「駆け付け警護」の本格運用に入る前の12月5日に、防衛本省から防衛政策局防衛政策課防衛政策企画官の飯島秀俊さん、防衛省大臣官房文書課法令審査官の岩田和昭さんのお二方を講師として迎え学習会を開催しました。大崎市議会議員に加えて栗原市議会議員、登米市議会議員、涌谷町議会議員、美里町議会議員の方も参加希望され、共に勉強を致しました。

この度政府は、安保関連法で集団的自衛権に関する武力の行使を自衛隊法などを改正し、PKO協力法に盛り込まれた新任務が「駆け付け警護」です。11月15日に南スーダンの国連平和維持活動(PKO)に派遣する陸上自衛隊に付与することを決め、12月12日から現地の国連司令部の要請などを受け、離れた場所で武装勢力に襲われた国連職員らを手助けに行く「駆け付け警護」と、宿営地が襲われた場合に他国軍の部隊と一緒に防衛する「共同防衛」が可能となり、初めて活動を開始することとなりました。

南スーダンは、政府軍と反政府勢力の大規模戦闘が発生して、国民保護・国家機能をなさないため国連が常駐代行している状態です。国連南スーダン隊のもとに、日本派遣施設隊隊長以下、南スーダン派遣施設団350人が新任務に就くことになりました。任務の遂行実施は、自衛隊の派遣部隊長が要請内容を踏まえて判断することになり、警護対象を守る際には、当然、武器を使用し交戦する可能性が出てきます。

その意義と意味について、報道機関では、批判的あるいは懐疑的な論調や肯定的な論調を大きく取り上げています。同じ法律の施行について対極的な印象を持つことは必ずしも悪いことではないし、また、賛成と反対に分かれることは何事にも見られることであります。重要なのは「安保関連法」「駆け付け警護」の実体を適切に知ること・学ぶことが大切です。

講師のお二方からは、国際情勢の変化や安保関連法案における個別自衛権と集団的自衛権、さらには「駆け付け警護」の具体的指針や南スーダン情勢などを中心に講演頂きました。また、新任務が付与された第11次隊は、青森・宮城・岩手・秋田各県の東北部隊などから選ばれた計約350人で構成されているので、東北防衛局長の深澤雅貴さん、陸上自衛隊東北方面総監部政策補佐官の明石圭吾さん、東北防衛局企画部企画調整係長の矢野宗一郎さんにも同席願ひ、隊員における福利厚生など含めた幅広い意見交換を致しました。

憲法9条第2項の戦力不保持や交戦権否認など法的未整備での派遣、交戦権限の不明確さに、隊員および自衛隊ご家族皆さんの心境を考えると、国政の国防・外交問題ではありますが、国民・市民生活を預かる大崎市議会として、しっかりとした学習のもとに市民皆さんとの意見交換を踏まえ、市議会議員の責務を果たしていかなければならないと考えます。

なお、開催するにあたり、防衛省本省から国会開会中に仙台市まで御出で頂く調整含めて、桜井充参議院議員と東北防衛局長の深澤雅貴さんには大変お骨折りを頂きました。あらためて感謝申し上げます。

話題を追って「安保関連法」と「駆け付け警護」を考える



## 大崎ウォッチング

### 内川・ふるさと保全隊

大崎市岩出山を流れる「内川」が平成28年11月8日に「世界かんがい施設遺産」に認定されました。内川は、伊達政宗により人工的に築造され、大崎市古川・岩出山に農業用水を供給しています。歴史的にも重要な水路であり、この認定は宮城県初の登録です。

この内川の景観を保全・継承するために活動しているのが「内川・ふるさと保全隊」の皆さんです。平成14年2月に発足、今年で15周年を迎え、100名以上の方が会員として参加しています。主に春・秋の清掃、フジ棚・遊歩道の整備、内川夏まつり、岩出山小4年生の子供たちと一緒に行動植物の生態・水質調査などの保全活動をはじめ、芋煮会や餅つき大会などレクリエーションも行っているそうです。

また、宮城県北部地方振興事務所、大崎市、JA岩出山、大崎市土地改良区や内川環境美化連絡会(各神交会長・JA女性部・消防婦人部)とも積極的な連携を図り、様々な活動を展開させてきています。

「内川・ふるさと保全隊」の15年の歩みに敬意を表するとともに、今後も大崎市が誇る内川の保全と環境美化活動、さらには地域の絆、後継者育成につながる活動を共に盛り上げてまいりましょう。

お問合せ

大崎市岩出山字浦小路8-3  
隊長/真山 智  
電話/0229-72-1448



### さとう仁一連合後援会会長 遠澤啓子

皆さま、新年明けましておめでとうございます。この一年、「こんなはずではなかった」「まだ、そんな歳とは思ってなかった」と、自分の強気を自戒しながら、仲間の皆さんに愛され、励まされ、新年を迎えられました。有難いことです。

「数のおこり」、年齢もそうですが、国会審議を報道通じて知る限り、国民生活に大切な年金制度をはじめカジノ法案など、特にTPP法案は、アメリカ大統領選挙でも選択肢の一つになり、反対のトランプ大統領誕生に繋がりました。将来展望や国民意見との共有する姿勢に欠けて、数のおこりの国会運営に危険性を感じ得ません。

ますます大崎市議会は市民とともに歩んで頂きたいと期待しています。さとう仁一議員の理念は、皆さんとの共有に基本があります。日頃の皆さんのご指導の賜物です。心より感謝いたします。

### 大崎市議会議員 さとう仁一

※公職選挙法により年賀状は差し控えていただきました

輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃のご指導と活動にご理解賜り感謝申し上げます。

年々、気象の異常が増加し、昨年を振り返りましても、熊本地震をはじめ各地で自然災害に見舞われましました。

本年も、市民生活の安心・安定を求めて活動を続け、産業振興はもとより身近な福祉医療や放射性汚染物質の処理問題などに精力的に取り組んで参ります。

一方、宮城県内水面漁業協同組合連合会会長を授かり、温暖化による魚族変化や河川・湖沼環境など生物多様性保全の活動にも努力します。

現在、自己の健康管理を怠り体調を崩してしまい、12月定例会を欠席して入院・静養中です。年末年始のご案内に出席できず申し訳ありません。皆様のご健康を心より念じております。

### 後援会会長挨拶

### さとう仁一挨拶